

教職教養Training動画

教育心理

講義6

学習



講師：古川聡



月刊『教員養成セミナー』2019年1月号収録

心理学の歴史

ヴントの構成主義心理学

主張 1 : 意識を内観法で研究しよう !

主張 2 : 心の世界を要素に分割し、それを再構成しよう !

⇒ **主張 1 を批判 : ワトソンの行動主義心理学
客観的で測定可能な行動を研究対象とすべきだ !**

⇒ **主張 2 を批判 : ウェルトハイマーのゲシュタルト心理学
仮現運動を例に、全体的な視点を取ることが必要だ !**



学習理論

直接強化：連合理論

- パブロフの古典的条件づけ 反応を誘発
- スキナーのオペラント条件づけ 反応を自発
- ソーンダイクの試行錯誤説 効果の法則

：認知理論

- ケーラーの洞察説 見通しを得る
- トールマンのサイン・ゲシュタルト説 . . . 認知地図の形成

間接強化

- バンデュラの社会的学習理論 道徳的行動



学習に影響する要因

学習曲線：学習の過程を図示したもの

⇒ 適度な難度の場合、一時的な停滞が起こる。これがプラトー。

強化：反応の生起頻度を高める手続き ⇒ 連続強化と部分強化

正の強化・・・望ましいことが起こるように積極的にやろう！

負の強化・・・嫌なことが起こらないように積極的にやろう！

罰：反応の生起頻度を低める手続き

嫌なことが起こらないように止めよう！



記憶の分類

感覚記憶 : 視覚はアイコニックメモリ、聴覚はエコイックメモリ

↓ ・ ・ 注意を向けたもののみが短期記憶になる！

短期記憶 : 容量は 7 ± 2 チャンク

↓ ・ ・ リハーサルや語呂合わせをすると長期記憶になりやすい！

長期記憶 : エピソード記憶 ・ ・ 個人的な体験にもとづく記憶
意味記憶 ・ ・ ・ ・ 言葉の意味や普遍的な知識
手続的記憶 ・ ・ ・ ・ 技能の記憶



記憶に影響する要因

エビングハウスの忘却曲線

⇒ 記憶して少し経過した方が思い出しやすい例外がレミニセンス

系列位置曲線

⇒ 数多くの事項を記憶すると、最初（初頭効果）と最後（新近性効果）が思い出しやすい

メタ認知

⇒ 自分自身の記憶力、得意な記憶方略など、自己の認知についての認知



動機づけ

(1) 動機づけの種類

外発的動機づけ（報酬を与える、罰を与える、競争させる）

内発的動機づけ（興味、関心、好奇心を持たせる）

(2) 動機づけは変わる

外発的動機づけから内発的動機づけへ ⇒ 機能的自律

内発的動機づけから外発的動機づけへ ⇒ アンダーマイニング現象

(3) やる気は学習の賜物

セリグマンの学習性無力感の研究



知能：知能の捉え方

スピアマン・・・知能の2因子説（一般因子と特殊因子）

サーストン・・・知能の多因子説（複数の基本因子）

ギルフォード・・・知能の立体構造モデル（内容×操作×所産）

スタンバーグ・・・知能の鼎立理論（コンポーネント、経験、文脈）

ガードナー・・・多重知能理論（言語的、論理数学的、空間的、身体運動的、音楽的、対人的、個人的、博物学的の8つ）



知能：知能検査

ビネー式知能検査・・・ビネーが開発

- ⇒ 世界で最初の知能検査が源
全体的な知能水準を知能指数で表示

ウェクスラー式知能検査・・・ウェクスラーが開発

- ⇒ 全体のIQ、言語性IQ、動作性IQを偏差知能指数で表示
言語理解、空間視覚、流動性推理、ワーキングメモリ、処理速度
幼児用WPPSI、児童用WISC、成人用WAIS

K-ABC心理教育アセスメントバッテリー・・・カウフマン夫妻が開発

- ⇒ 習得尺度と認知処理尺度（同時処理と継次処理）

